

2017年12月映画興行部門興行成績速報

12月の東宝グループ会社の興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

678スクリーン **興行収入** **5,592,961,754 円** **(前年比 89.7%)**

12月主要稼働作品

『スター・ウォーズ／最後のジェダイ』『DESTINY 鎌倉ものがたり』『オリエント急行殺人事件』『映画 妖怪ウォッチ シャドウサイド 鬼王の復活』『カンフー・ヨガ』『未成年だけどコドモじゃない』『劇場版総集編アニメ「刀剣乱舞 -花丸-」～幕間回想録～』『8年越しの花嫁 奇跡の実話』『鋼の錬金術師』『探偵はBARにいる3』『仮面ライダー平成ジェネレーションズFINAL ビルド&エグゼイドwithレジェンドライダー』『ガールズ&パンツァー 最終章 第1話』『リベンジgirl』『火花』『IT／イット “それ”が見えたら、終わり。』『GODZILLA 怪獣惑星』『泥棒役者』『ジャスティス・リーグ』『gifted／ギフトッド』他

1月から12月までの東宝グループ会社の累計興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

興行収入 **66,815,200,384 円** **(前年比 96.9%)**

※ここでの東宝グループとは、TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、(株)東京楽天地、オーエス(株)、スバル興業(株)以上5社が経営する映画館をいいます。

★TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、スバル興業(株)は、東宝(株)連結子会社
(株)東京楽天地、オーエス(株)は、東宝(株)持分法適用関連会社

※共同経営館(44スクリーン)のTOHOシネマズ分を含みます。

※「興行収入」とは映画館の入場料収入を指します。売店収入などは含まれておりません。

以上